

氏名	平 松 順 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	<i>Propionibacterium acnes</i> DNA detected in bronchoalveolar lavage cells from patients with sarcoidosis (サルコイドーシス患者気管支肺胞洗浄液中細胞における <i>Propionibacterium acnes</i> DNAの検出)
論文審査委員	教授 清水 信義 教授 槇野 博史 教授 金澤 右

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

BALF 中の細胞における *P. acnes* DNA の検出とその局在を検討した。サ症患者 30 例、非サ症患者 30 例において BALF を行い、nested PCR 法で *P. acnes* DNA の検出を行った。また、サ症患者 3 例、非サ症患者 2 例の BALF 細胞を用いて、in situ PCR を行った。肺野病変を有する症例（胸部 X 線病型Ⅱ型+Ⅲ型）において、肺野病変のない症例（胸部 X 線病型Ⅰ型+Ⅳ型）*P. acnes* DNA の検出率が有意に高率であった。更に *P. acnes* DNA 陽性例ではガリウムシンチグラムの肺野への集積の頻度がより高率であった。in situ PCR Hybridization にてマクロファージ細胞質内に *P. acnes* DNA を認めた。以上より、*P. acnes* DNA が認められた症例では、肺野病変の活動性が高く、*P. acnes* がサ症肺における病態形成の一因でとなっている可能性が窺われた。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、サルコイドーシスという全身性肉芽腫性疾患の原因究明を図ったもので、当該疾患患者の BALF 細胞から高率に *P. acnes* DNA を検出した。マクロファージ細胞質内にこれが存在する場合、肺野病変の活動性が高く、*P. acnes* DNA がサルコイドーシス肺における病態形成の一因となっている可能性を確認し、原因不明であった当該疾患の原因究明に貢献している。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。